

人工膝関節置換手術を受けられる方へ

1/2枚目

日付		/	/	/		
経過		入院日	手術前1日目	手術前	手術中	手術後
治療	測定	体温、脈拍、血圧を測定します。 		手術室に行く前に体温、脈拍、血圧を測定します。		手術の後は、時間ごとに体温、脈拍、血圧を測定します。また、その際に足の動きや感覚も確認します。
	安静度	安静の制限はありません。 		自分で歩いて、または車いすで手術室へ入室し、手術室の看護師と手術の準備と引き継ぎをします。		ベッドで安静です 看護師が体の向きを変えます。  手術を行った方の足は枕で挙上します。
	処方	薬剤師がいつも飲んでいいる薬の確認をします。 手術に関係する薬は医師の指示に従い休止します(血をサラサラにする薬など)。 		お薬を飲んでいいる方は 指示されたお薬のみ飲んでいただきます。 		
	注射					点滴をします。痛みが強い場合は点滴や坐薬などで対応します。また、医師の指示により輸血を行う場合もあります。 
	リハビリ	必要に応じてリハビリテーションを行います。				
処置		手術にご用意していただくものは、下記のとおりです。タオルや病衣はCSセットに含まれます。T字帯1枚またはオムツ1枚、ストロー付きコップ、ズック(スリッパやクロックスは転ぶ危険性があるので使用しないでください。)私物には名前を書いてください。	必要時手術部位の除毛をします。 男性の方はひげを剃ってください。女性は髪を結べるようにしててください。 マニキュアや化粧、指輪、その他アクセサリーなどを外せるかどうか確認します。	朝に浣腸をします。	 手術は全身麻酔で行います。	血栓症予防のために下肢にフットポンプ(間欠的空気圧迫)を装着します。
				洗面・歯磨き・ひげそりは普段通り行ってください。 お化粧・マニキュア・指輪はしないでください。 手術に出る30分前にトイレをすませ、手術衣に着替えてベッドで静かに休んでください。 弾性ストッキングを手術をしないほうの足に履きます。また、医師が手術をする足に間違い予防のために印をつけます。		創部に血がたまらないようにする機械がついてきます。触らないようにしてください。
						尿を出す管が入っています。 
						酸素を吸入します。 
食事	朝	食事の制限はありません。 手術後は足に血栓ができやすくなるため、積極的に水分をとってください。 	食事の制限はありません。 手術後は足に血栓ができやすくなるため、積極的に水分をとってください。	 食事、水分は取らないで下さい。		
	昼			 食事、水分は取らないで下さい。 手術後からうがいはできます。希望される場合には看護師にお知らせください。		
	夕			食事、水分は取らないで下さい。 		
清潔			清潔のためシャワーをしていただきます。 シャワーができない方は体を拭き、洗髪します。 手足の爪はお切りください。 			
説明その他		CSセットの加入をお勧めします。 手術前のオリエンテーションをし、弾性ストッキングをお渡しします。  	体の向きを変える事や、歩行器歩行・車椅子乗車の練習をします。   夜は早めにお休みください。眠れない場合は看護師にご相談ください。	午前の手術の場合は8時30分に手術室に到着するように、病棟を出ます。午後からの手術の場合は呼び出しになります。 手術の後は、病室が変わることがあります。 病室が変わる場合はお知らせします。 貴重品はご家族にお預けください。		 創の痛みが強い時や気分の悪い時、新たにしびれが感じられた時には我慢せずナースコールを押してください。

※治療内容、入院期間については状態に応じて予定が変更される場合があります。